

# M I Z U W A K A

## 奨学基金設立へ、同窓会が寄付

同窓会は、優秀な人材を養成することを目的として、愛知工業大学の在学(準会員)に対して学費の援助をすることにし、理事会で承諾されました。それにとまじり、奨学基金の設立を大学にお願いし、奨学基金の資金としての寄付を書面で申し込みました。

## 皆さんの近況をお聞かせください!

会報誌「みずわか」では、がんばるOBやOB掲示板などのコーナーで、同窓生の皆さんの近況を発信しています。簡単な文章と写真を添えて、下記の同窓会事務局まで、郵送、FAXまたはメールでお送りください。掲載をさせていただいた方には、粗品を差し上げます。

## 第21回定期総会開催のお知らせ

- ★とき 平成27年6月27日(土)
- ★ところ 名古屋国際ホテル

詳細につきましては、案内を発送いたします。ぜひ、ご出席をお願いいたします。

## 愛工大の研究室で撮影した動画をイギリスの博物館で上映

機械学科の北川一敬教授(H2M)が指導する、高速空気力学研究室が撮影した「カナブン飛翔」の動画がイギリスのファーンボロ航空科学財団の博物館で上映展示されています。現地にお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。オリジナル動画のリンク先はこちらから <https://www.youtube.com/watch?v=0Fh47uGq13U>

## 同窓生の皆さん、特典を活用して「オープンカレッジ」に参加しませんか

愛工大の本山キャンパスと自由ヶ丘キャンパスで開催される「オープンカレッジ」は、幅広い内容の講座が用意されています。2014年度は、ドクターコパ先生による風水の特別講座や、能・狂言や天文などの教養講座、語学講座、健康にまつわる講座などが開催されました。同窓生の方々には、特典も用意していますので、ぜひ、ご参加ください。補助内容:一講座当たり参加費の半額(一人当たり上限を3,000円とする) 所定の申込書\*に必要事項をご記入の上、本山キャンパス事務局へご提出ください。

\*申込書:同窓会ホームページに掲載されている「様式7」になります。プリントアウトできない場合は、同窓会事務局へ用紙をご請求ください。



東洋医学の知識を学ぶ講座



受講者自ら印を彫る篆刻講座



木版画の作品を眺める受講者たち

## 株券を同窓生の支援に利用

同窓会会員の方々への下記支援は、同窓生(瑞若会員)の有志から寄付された株券の「株券寄付基金」の配当金により行っておりますので、皆さんもぜひ、ご利用ください。

- 本山・自由ヶ丘キャンパスの施設を利用した、同窓会会員による各種活動への支援
- オープンカレッジの参加費の一部補助
- 在学生や社会人に対する、企業経験者による経験・体験等の講演会開催への支援

## 2015年度オープンに向けて新2号館が完成します!

旧カフェ&レスト セントラルの跡地に建てられた、鉄骨・鉄筋コンクリート造り地上6階、地下2階からなる新2号館。

地下1、2階の吹き抜け空間は、建築学科がアトリエ、製図室などとして使用。傾斜地を利用しているため、地下からも外の風景を眺められる居心地のいい造りです。1階は本格的なロボットミュージアム、2階は事務室になります。3、4階には建築学科、5、6階には電気学科の一部が入る予定です。

一方、今までの2、5号館が解体撤去され、跡地には学生の憩いの空間として中央広場などが設けられます。



## 表紙写真について

附属図書館の壁面を撮影したものです。卒業生の方も図書館を利用できますので、ぜひ、ご活用ください。



## 愛知工業大学同窓会支部結成のために必要とされる手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
  2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、学科、連絡先等)
  3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考にしてください)
  4. 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
  5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける
- ※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること

## 会員の皆様へ

ご住所や勤務先などの変更等がありましたらお知らせください。また、地域での同窓会活動の状況など皆様からの情報や、同窓会および会報誌「みずわか」に対するご意見も、お待ちしております。 ※下記のメールまたはFAXでご連絡ください。

同窓会・会報誌「みずわか」に関するお問い合わせ、申し込み、ご連絡は **愛知工業大学同窓会事務局** まで

郵送 〒470-0392 豊田市八草町八千草1247

TEL FAX TEL 0565-43-1032 月~金 9:00~16:30 FAX 0565-43-1031

e-mail mizuwaka@aitech.ac.jp

※ご登録いただいた個人情報は同窓会に関する案内および大学から依頼された案内の発送のみに使わせていただき、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。なお、個人情報の取扱いについては、HPIに明記した瑞若会個人情報保護ポリシーに準じます。

愛知工業大学同窓会誌(瑞若会会報) MIZUWAKA(みずわか)

発行日 2014年12月  
発行 愛知工業大学同窓会  
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247  
Tel.0565-43-1032 Fax.0565-43-1031  
発行責任者 岩月 栄治

編集 MIZUWAKA Vol.47 編集委員会  
宇田 秀樹、葛谷 新一郎、五島 敬史郎、佐野 泰之、  
田近 みえ子、立枕 孝之、津田 紀生(チーフ)、中野 寛之、  
西 裕之、西川 聡美、橋本 知佳、前田 賢、元谷 卓、  
柳瀬 浩史、山田 章、山田 千代美(事務局)

印刷 株式会社 大東社  
〒494-0003 一宮市三条字大平27  
Tel.0586-62-1168 Fax.0586-62-1751  
制作 アクア・ビット

<http://www.ait.ac.jp/>

瑞若会会報  
Vol.47

- 特集 >>> 同窓会のオリジナル日本酒「瑞若」誕生!
- がんばるOB >>> 国内外で活躍する同窓生6人の近況報告
- Close-up Laboratory >>> 若手研究者と学生たちの取り組み

# 同窓会のオリジナル日本酒「瑞若」

# 誕生!

瑞若会本部事務局では、初の試みとしてオリジナル日本酒「瑞若」を企画し、2014年7月14日に同窓会HPで告知販売(数量限定)を開始しました。会員相互の親睦に利用したり、瑞若会や愛知工業大学を広く知ってもらうためのツールとして活用していくのに企画したもので、ラベルも同窓生の佐藤友泰さんが手がけたオリジナルです。

## 日本酒「瑞若」誕生に向けて

オリジナル日本酒の銘柄を決める選定会が、2014年5月16日(金)に名古屋ガーデンパレスにおいて行われました。

後藤泰之学長と日本酒企画メンバーが、県内の酒蔵から選りすぐった4銘柄の日本酒をブラインドで試飲。その結果、最も得票数の多かった勲碧酒造株式会社(愛知県江南市)の酒が選ばれました。選ばれた銘柄の酒にさらにひと手間を加え、「瑞若」が誕生しました。

その後、6月14日(土)の理事会でお披露目されました。大学や瑞若会関係者の皆様から好評だったことも踏まえ、オリジナル日本酒の企画は、次年度に向けて継続を予定しています。

選定会で試飲された酒



選定会の様子

## 「瑞若」誕生のきっかけ

岩月 栄治事務局長(61D)

愛知県の各大学の同窓会が集まる席で、他大学にはオリジナルグッズがあるのを知り、愛工大としても何かあった方がいいのではと思い企画しました。

日本酒にしたのは、懇親会や支部行事、他大学との交流会など人が集まる様々な機会に利用してもらえらること、場の話題作りにもなると考えたからです。

同窓会を盛り上げるきっかけになればと考え、名前を「瑞若」としました。

手漉き和紙に墨文字のラベルにも趣きを感じられる純米吟醸「瑞若」(720ml 1本2000円消費税別)。1枚1枚手書きされたラベルは、はがして額にいれて飾っておくのもいい



理事会後の懇親会で行われた「瑞若」お披露目会の様子



理事会で挨拶する後藤 淳総長



後藤 泰之学長

いろいろな大学がオリジナルグッズを作っている中で、今回、同窓会が日本酒を用意してくれたことはうれしく思います。とても口当たりの良く飲みやすいお酒だと思います。早速、中国の東南大学訪問の際に持参しましたが、先方の学長にも喜んでいただけました。今後も様々な場面での活用を考えています。



理事会で挨拶する 道家 秀男瑞若会会長(51A)



瑞若会から大学へ「瑞若」が贈られました

## ラベルに込めた思い

佐藤 友泰さん(51K)

40年近く紙漉きをしてきましたが、今回のラベル用には平成6年の国体賞状用に漉いたときと同じ小原和紙を使用しています。

「瑞若」という文字は力強い雰囲気の手書きに、すべて手書きしています。また、「愛知工業大学同窓会」という赤い印は篆刻をしている双子の弟の手によるものです。



## 米・水、地元愛知にこだわり

勲碧酒造株式会社 村瀬 元弥さん

愛知県は日本酒の生産が全国第5位という酒造りの盛んな地域です。地元の大学にオリジナルグッズとして選んでいただけて光栄です。

この酒には、愛知県の新しい酒米「夢吟香(ゆめぎんが)」を使っています。愛知県の「若水」という米と「山田錦」をかけあわせ、5年前から開発してきた品種で、昨年の秋にようやくはじめての収穫にこ

ぎつけました。60%精米し、当酒蔵の地下100mから汲み上げた木曾川の伏流水で仕込みました。すっきりとした辛口でまろやかさも、両方の米の良さが出た仕上がりになっていると思います。



「瑞若」の  
購入方法について

数量限定販売です。詳しくは、  
同窓会HPをご覧ください。

<http://aitech.ac.jp/~mizuwaka/news/sake2.pdf>

熊谷 英美さん(57A)

ラベルもこだわって、素敵です。制作に卒業生が関わったのも意義があることですね。

今後、同窓生からも案を募り、新しいグッズを作ってもいいのではと思います。



澤野 美幸さん(57A)

お酒は様々な集まりで使えそうですし、気が利いたオリジナルグッズですね。

地元産業の発展にもつながるのでいいと思います。ぜひ、第2、第3の物を作ってほしいですね。



有川 満泰さん(37E)

同窓会が企画した日本酒と聞いて最初はびっくりしましたが、他大学でも話題作りでいろいろ行っていますので、時代の流れで大学をPRする方法の1つとしてはいいと思います。





## 技術者として、経営者として お客様のWANTSに応える 会社を支える



名古屋市内にあるオフィス

名古屋球場のスコアボード

**松下 剛幸さん(60E) 株式会社ウオイツ 代表取締役社長**

### 先生に恵まれた学生時代

高校時代からTVゲームの製作など電子工作が趣味だった松下さんは、興味のある分野を深めようと電気学科へ。「入学してからは学業よりも囲碁部の活動や電子工作などにあけられ、勉強はあまりしなかったんですよ」。ただ、百点満点を求めるだけではない先生もいたことで救われたとか。

「電気工学の試験では、4問中の1問だけでも解ければ単位がもらえました。たとえ答えは間違っているけど、教科書の丸写しではなく、自分なりの考え方や解き方をしていれば認めてもらえたんですよ。学生の個性を生かそうという教育方針だった気がします」。

「雨量ロボットの制作」をテーマにした卒業研究では、電子回路について深く学ぶきっかけになったと言います。

「学生時代に真剣に考える、深く考える、自分で考えるという大切さを学びました」。この経験が、仕事への取り組み方にも役立っているそうです。

### 厳しい仕事をやり遂げ自信に

卒業後は先生の推薦で受けた電気設備関係の会社で強電設備の設計に携わることに。それなりにやりがいはあったものの、弱電の仕事がしたいと

いう思いがわき始めたときに転職を迎えます。当時の株式会社トランスミッションエンジニアリングの社長からタイミング良く誘いを受けて転職します。

「念願の仕事に就けてははきっていましたが、入社5年目ぐらいのときに第一次納期に間に合わないという失敗もしましたね。その後、寝る間もないほど一生懸命に取り組んで次の納期には何とか間に合わせました」。これによってお客さんからも信頼を得ることができ、仕事の楽しさを知り、取り組み方も変わったそうです。

「30代までの頭が柔軟な時期はいろいろなことが自分の中にインプットできます。どれだけ新しいことを吸収できるかが、その後の成長につながると思いますね」と自らの経験から語る松下さん。

2002年まで通信関係の設備設計に関わってきた松下さんの中で、最も印象深いのは長野オリンピックに関わる仕事。衛星中継に使う専用回線接続装置の設計をし、6ヶ月という短期間で開発から製品化へこぎつけたそうです。「世界中の注目が集まるイベントで、納期の遅れはもちろんのこと、機

器の不具合による失敗は許されないというので、このときばかりは善光寺さんへ神頼みもしましたよ(笑)」。

### 技術者集団の先頭に立ち日々奮闘

株式会社ウオイツは、12年前に名古屋の設計技術者が独立して設立した会社。役員の一員としてハード設計部隊を取りまとめ、営業もして顧客を開拓するなど業務拡大に邁進してきました。

2004年には名古屋球場のスコアボード装置一式を受注。「当時はまだ珍しいLEDをスコアボード専用自社製作するなど、技術の粋を集めて作りました」。その成果もあり、スコアボード事業は、年間3~4件の受注がある主軸事業に成長しました。

2014年3月に現会長からバトンを託され、社員104人の先頭に立って舵取りをしている松下さん。

「技術者集団の会社なので技術がすたれたら意味がないですから、常に新しい技術を求めて前進していきたいと考えています。その1つとして、産学連携にも積極的に参加しています。お客様のWANTSを形にし、喜んでほしい」と社名に込めた思いを胸に語ります。技術者として経営者として、社内外から期待が寄せられています。

## 女性が少ない設備業界で 積算の仕事を任されて ベストを尽くす



中島さん(左から2人目と比嘉研究室の皆さん)



写真が趣味という中島さんが撮影したものの

**中島(旧姓加藤) 久美子さん(H15A) 川崎設備工業株式会社 技術本部設計部主任**

### 設備関係の会社へ就職

建築設備の中でも空調・衛生工事を主に行う会社に勤める中島さん。

バリアフリー建築に興味をいだいて建築学科へ入ったものの、図面を描いたり、プランを作ったりする建築設計が自分に向いていないと感じ、止めようかと思う時期もあったそうです。

そんな中、「建築設計から一度、離れてみては」という先生のアドバイスで、違う角度から建築を考えることができたと言います。

「新しく建物を造るより、歴史的な建造物がどうして残っているのかということに興味がわいてきたんです」。その後、環境工学や設備への関心を持ち始め、大学院では光環境の研究をしました。

就職先は建築業界を目指していましたが、先生のすすめもあって住宅メーカーや設計事務所ではなく、設備関係の会社を志望することにした中島さん。

「ただ、設備業界は女性が少なく、さらに院修了なので説明会も断られるなど、就職活動は苦労しましたね」。両親からは「女性だからといって仕事をなめてはいけない」「男性の何倍も

の努力が必要だ」と言われていたのがんばれたとか。

### 積算の仕事にやりがいを感じて

技術職として入社した数少ない女性社員だという中島さん。現在は所属する設計部で積算の担当をしています。

設備工事全般にかかる見積りを作成する積算の仕事は、提出までの期限が短く、提出期限を守ることが絶対条件。「1人で担当しており、すべてを任されていますので大変な部分もありますが、やりがいを感じています」。

積算には自社の他部門だけでなく外部の見積もりが欠かせないので、内外問わずコミュニケーションが大切とか。「機器メーカーや他業者の担当者とも常日頃から良い関係を築くよう心がけています」。

今後は学生時代に苦手だと思っていた設計の知識を身に付け、設備設計一級建築士の資格もとりたという中島さん。

「自分のためということもありますが、会社にとっても重要な資格なんです。資格保有者の状況で受注できる仕事も異なるんです」。

### 中堅社員としての心構え

入社10年目になり、中堅社員として上司と部下の間に立ち、それぞれの話を聞いて円滑に仕事がまわるように気を配っていると言います。

「とくに後輩のことは気にかけています」。中島さんが入社した頃は、年の近い先輩がほとんどいない状況で、何か相談するにも苦労したからとか。

後輩の指導にあたっては、一から十まですべてを教えるのではなく、質問には答えつつ、方向性を導くようにしています。「間違えることでより頭に入ることもありますし、自分で調べることで周辺のことも知識として入ってきますから」。

中島さん自身も上司から教えられた「常に根拠を持つこと」「調べること」「聞くこと」を念頭に仕事をしているそうです。

「今の会社は人間関係が良く、一緒に仕事をしたい人がたくさんいるので、できればこのまま続けたいですね」と中島さん。設備業界で数少ない女性社員として、これからの活躍が楽しみです。

もくもく かつあき  
空野 勝昭 さん 61M

**海外でのトラブルに要注意**

現在、株式会社中央製作所海外課に勤務し、アジア地区を中心に10カ国を超える国々に行き、ビジネスを行っています。その経験から老婆心ながら、海外での注意を書かせていただきます。

自分の健康は、自分で守り、ケガは絶対にしないこと。水も悪い国が多く、氷が原因で腹痛になる場合もよくあります。

治安は、日本より良い国は無いと思うこと。日本人は、「金持ち」に見えてターゲットになりがち。プロのスリの手にかかる、私もそうでしたが、すられたことすらわかりません。

現地の方との信頼関係が大事。言葉は話せた方がいいのですが、それよりも人と人との信頼関係を構築の方が大切です。例えば中国系の人は「誰から買うか」が1番の選択理由になるため、信用されないと何も始まりません。

また、海外赴任や海外出張中に異性で失敗した人を星の数ほど見てきました。お互いの監視を兼ね、海外出張では男性2人を同室で宿泊させる商社もあるほどです。

皆様の海外でのご活躍、期待しています。



現地の会社の人たちと(右から3番目が本人)

滞在先での観光の一コマ

小林 秀孝 さん 54K

**定年のないエンジニア**

東京のソフトハウスに就職し、主にマイコン制御系のプログラミングをしていました。元元ラジオ少年といいますが、オーディオや電子工作が趣味だったので、マイコン応用製品のソフト・ハードを含めたシステム設計も手がけました。

10年後に独立し、フリーのシステムエンジニアとなり、現在は主に半導体検査装置の制御系・通信系ソフトの業務に携わっています。一時はシリコンサイクルの波を受け、生き残りをかけて仕事のある分野にシフトするなど波乱の連続でしたが、好きな道なので苦勞とも思わず続けられました。昨今は、景気変動のあおりで、取引先が外注費ゼロ宣言をしたりと波乱万丈は続いていますが、何とかシステム屋一筋で仕事を続けています。

趣味はマウンテンバイクで、休日は野山を走り回り、ヒルクライムレースにも参加しています。学生時代にやっていたバンド活動も再開。再結成してキーボード担当として練習に励んでいます。

今後も仕事をもらえらうちは80歳になっても続けられればいいなあと思っていますが、さてどうなりますやら。



バンドではキーボード担当

高橋 武男 さん 47A

**工作・木工教室を主宰**

在職中に愛知県が募集していたインタープリター(自然の案内人)の研修を受けて資格を取りました。週末には「モリコロパーク」で子どもたちと自然遊



工作教室の様子

びや工作をしながら、瀬戸市で木工ボランティアもいっつ、定年後は子どもと接する仕事ができるといいなと思っていました。

60歳で退職後、「もくもく楽舎」を立ち上げ、親子を対象にした自然遊びと工作教室や、中高年者を対象にした木工教室など、愛知・三重・岐阜・静岡県で年間50~60回の出張教室を行ったり、作品の展示会などを開催しています。

工作教室では、剪定木を使った昆虫や動物の作り方も教えています。新しい作品を考えたり、材料にする剪定木を調達したり、材料を切って準備したりと大変なこともありますが、完成したと



きの子どものうれしそうなお顔をみるのがやりにいになっていますね。リピーターの参加者も多く、教室を楽しみにしてくれています。

◀自然遊びの教室

●もくもく楽舎 <http://setoshi.com/mokumokurakusha/>  
●ブ ログ <http://mokumokurakusha.blogspot.com/>

鷲津 新佑 さん H18E

**海外担当業務で自分も成長**

トヨタ車体株式会社の車両生技部にて、主に海外工場の生産準備・支援として、自動車組立ラインの計画を立て、車両の生産に必要な工程や設備の検討・調達・工場への導入・評価を行っています。

入社後3年が経過した2011年11月から海外担当の業務となり、2012年12月までインドネシア、それ以降は南アフリカを担当しています。出張ベースでの業務がメインですが、今までの通算1年半程度は海外の事業体で業務を行ってきました。

言葉の面では不安もありましたが、目的意識は同じなので、仕事を進める上で大きな問題にはなりません。プロジェクトを通していろいろな意見交換ができ、現地メンバーへトヨタの考え方を教えられる点、教えながら自らも学ぶことができる点でやりがいを感じています。



現地社員とのコミュニケーションが大事



現地の会社の前で

OB 掲示板

関東支部 「春の隅田川総会」開催

2014年4月5日(土)、天気晴朗、波おだやかにして桜満開の隅田川に漕ぎ出した「瑞若会関東支部丸」。後藤淳総長はじめ10名の愛工大関係者と関東支部会員35名の参加がありました。昨年、強風雨にして中止になったこともあり、まずは「開催できて良かった」という思いでこの日を迎えました。



参加者全員で記念撮影

全員で集合写真を撮ったあと乗船し、参加者は各科別指定席に着いて、「船清」女将の「いってらっしゃい」の声に見送られて出航。レインボーブリッジを見上げながら、水野政光支部長(45E)から「袖ふれ合うご縁を大切にこの会が発展するように」という言葉とともに開会宣言がなされました。来賓として後藤淳総長から暖かい挨拶をいただきつ、東芝ビル、築地市場を左に眺めながら船は進み、道家秀男瑞若会会長(51A)の挨拶が終わって会が進むにつれ、なごやかな雰囲気になっていきました。高原光立前支部長(43M)による乾杯発声を受けて、それぞれ快活な交流が行われました。隅田公園の満開の夜桜を満喫しつつ隣のスカイツリーの電飾を楽しみ、船は隅田川上流においてしばらく停船。水面に桜と夜景を映す中、歓談しながら春の宵を楽しみました。

名古屋からお越しくださいました皆様、ありがとうございました。 関東支部事務局  
※詳細は関東支部HPをご覧ください。

<http://www.mizuwaka-kantoh.org/ait-50a/index.htm>

機械学科 第1回同窓会開催

機械学科同窓生が2014年3月に第50期となったことを機に、10月4日(土)、八草キャンパス機械学科棟にて第1回機械学科同窓会を開催しました。参加者は総勢150名以上となり、全体会と懇親会の2部構成で行いました。



機械学科同窓会

全体会は、機械学科同窓会大島勝三会長(43M)の挨拶に始まり、同窓生教員代表の渡辺修常任理事(45M)から50年前の若水キャンパスの様子、八草キャンパスの今昔、機械工学科から機械学科への変遷が紹介され、その後、学生プロジェクトの担当学生から人力飛行機、学生フォーミュラー、3Dプリンタが紹介されました。引き続き、学生の熱心な説明を受けながら、人力飛行機の実機、フォーミュラーカーのデモ走行、高性能3Dプリンタを見学。OB・OGの皆さんは、大変興味深い様子でした。

懇親会では、機械学科同窓会飯田穂副会長(45M)の挨拶に続いて、瑞若会本部より瑞若会元会長の大葉正之様(42M)より、ご挨拶と乾杯のご発声があり、宴が始まりました。同窓会のお酒「瑞若」もふるまわれました。また、懇親会中には、後藤泰之学長からお言葉をいただくとともに、多くの卒業生がお世話になった戸伏壽昭教授からは思い深い話が披露され、会を通じて先輩、後輩、学生の間で交流が深まりました。その後、機械学科同窓会の役員紹介があり、中村明副会長(48M)の締めの挨拶で同窓会を終了しました。

機械学科同窓会事務局 北川 一敬(H2M)

関西支部

「瑞若会合同視察」開催

2014年11月15日(土)に「平成26年度 瑞若会合同視察(東京スカイツリー、東京タワー等)」を行いました。これは、関西支部において合同視察の催しを発案企画し、関西支部から全支部に対して参加者を募り(愛工大ホームページでも募集)、実施したものです。



地元関東支部をはじめ、各支部の会員及び会員の家族も加わり、全56名の参加があり、1958年竣工の「東京タワー(高さ333m)」と2012年竣工の「東京スカイツリー(高さ634m)」を見学。その後、両国「KFCホールアネックス」において、東京スカイツリーの構造設計を担当された(株)日建設計構造設計主管 小西厚夫氏をお招きし、ご講演を賜りました。内容は設計にまつわる講話に始まり、東京タワーから半世紀を経たテクノロジーの視点により検証いただき、参加者一同有意義かつ大変興味深い内容の視察となりました。

場所を移動して懇親会が開催され、各支部参加者間で今後の瑞若会の運営等、意見交換がなされ、一層の親睦を深めることができました。 関西支部事務局

応化会

山田 英介先生(46C)の副学長ご就任をお祝い

2014年9月7日(日)、名古屋マリオットアソシアホテルにて、山田先生ご夫妻、総長、学長、卒業生、協賛会社様を含む総勢114名でお祝いの会を行いました。櫻本秀樹応化会会長(54C)を皮切りに、総長、学長よりご挨拶を賜り、昨年ご退職されました稲垣慎二先生(40C)のご発声により乾杯をしました。



応化会からは記念品が、卒業生からは大変ユニークな期間限定の記念品も贈られました。

応化会では、毎年イベントを行っております。応用化学科卒業生は、ぜひ一度、イベントにご参加ください。久しぶりの同級生にも会えるかも… 応化会 運営委員 加藤 一英(H4C)

各支部で総会および交流会を開催

下記の各支部では、支部総会が開催されました。道家秀男瑞若会会長(51A)より大学の現状報告があり、総会次第に沿って議案が提議され、審議の結果、原案通り承認されました。

●開催支部(開催日): 三重県支部(9/13) 岐阜県支部(9/20)  
静岡県支部(9/27) 北陸支部(11/8)

また、中・四国支部では、11月15日(土)に支部交流会が開かれ、大学の現状報告や支部運営にかかる確認などが行われました。 瑞若会本部

AIT OPEN FORUM

2014年度のAITオープンフォーラムが3会場で開催され、同時に支部総会も行われました。

第108回  
2014年9月13日(土) 四日市都ホテル  
テーマ: **本学は全国の大学で最初に緊急地震速報を導入しました!**  
講師: 工学部都市環境学科 正木 和明 教授

第109回  
2014年9月20日(土) 岐阜グランドホテル  
テーマ: **「ふー」と一息で健康・病態診断?!**  
講師: 工学部応用化学科 手嶋 紀雄 教授

第110回  
2014年9月27日(土) ホテルクラウンパレス浜松  
テーマ: **CSR「環境・食料問題への取り組み」～食べ物「モツタイナイ」をなくそう～**  
講師: 経営学部経営学科 石井 成美 教授

「ふー」と一息で健康・病態診断?!

講師: 手嶋 紀雄 教授 工学部応用化学科



「ヒトの呼吸には、約200種の揮発性ガスが含まれており、その中には特定の疾患と関係の深い代謝物質が存在します。例えば、糖尿病患者の呼吸には健康な方の呼吸よりも高濃度のアセトンが含まれています。呼吸分析は、血液分析に代わる低侵襲(痛みや負担が少ない)な病態診断法として注目されており、呼吸分析によるピロリ菌感染の診断は実用化されている方法の一つです。我々の研究室では極微量(ppbvレベル)の呼吸ホルムアルデヒド(HCHO)を計測する装置を開発し、喫煙後に発がん性物質であるHCHO濃度が上昇する様子をモニタリングすることに成功しています。近い将来、がんが早期発見できるような装置を作ることができればと考えています」との提言により、会場にて配布された「元素の周期表」を活用しての講話があり、大変興味深い講話がなされました。



## 都市居住環境に何が重要かを調査し 町づくりや環境デザインに生かす

工学部建築学科 武田研究室 武田 美恵 講師

さらかになったそうです。

こうした調査や研究は、住居をはじめとした建築設計や町づくりに生かされます。

### 持続可能な 町づくりのために

高度成長期に開発された住宅地では高齢化が問題になっています。将来的に同じような問題を抱えないためにも日本人の暮らしに対する価値観を変える必要があると言います。「持続可能な町づくりをしていくのが重要で、そのためには段階的な町づくりも必要です」。

そうした状況を踏まえて行っている調査研究が新興住宅地域を対象にしたものです。「新興住宅地域は30～40代の住人が多く、地域そのものが子どもが学び、成長する場として重要な役割を果たします」。同じ新興住宅地域でも、植栽がほどこされ環境を重視した地域と、交通など利便性を重視した地域があります。住人にアンケートをとりながら成長過程を追跡調査し、今後の町づくり教育に生かそうとしています。

### 祭りが地域コミュニティの形成 に果たす役割について研究

「何不自由ない住宅を手に入れて

も、暮らし始めた後にそれまで気付きもしなかった本当の心の豊かさを感じられていないのでは意味がありません。ハードな部分の整備だけで人は満足や幸福感は得られていないのではないかと考え、祭りが地域に果たす役割についても調査しています」。

人と人との関わりが希薄で、伝統文化をもたない新興住宅地域。祭りのパワーが、コミュニケーションのきっかけとなり、活気ある生活を送るための大事な要素となると考えているそうです。

### 体験や実践の大切さを伝える

「大学の掲げるものづくりの精神は町づくりにもつながります。足りないものをつくる情熱から生まれるという点で同じだと思います」。

学生時代にこそ学べることがあると言う武田先生。体験や実践を重視した指導を行っているそうで、社会貢献事業にも積極的に参加しています。

また、学生たちには視野を広げてほしいという思いから海外へ行くことをすすめているとか。「異なる文化や環境にふれることで価値観を広げることが出来ます。いろいろなことを吸収し、自信を持って活気あふれる日本をつくる担い手になってほしいですね」。



学生チャレンジプロジェクトで造った茶室「海上庵」

## 作り手も使い手も楽しめる 画像をテーマにした研究を進める

情報科学部情報科学科 澤野研究室 澤野 弘明 講師



### 学部内最大規模の研究室

学生時代にカーナビの研究をし、企業に入ってからその知識を生かしてカーナビのマネジメントをしてきた澤野先生。5年前に愛工大に移り、「画像処理及び演習」をはじめとした分野を教えています。

ビジュアル情報処理を専門とする澤野先生の研究室には40名の学生が所属し、画像をキーワードにした研究を行っています。

### 企業で培ったノウハウを応用

大勢の学生たちをまとめてスムーズに研究を進める背景には、研究室の組織作りや運営に企業での経験が生かされているとか。9名の大学院生がそれぞれリーダーを務める各グループに学部生を配し、企業の部門のような形をとっています。

研究テーマはグループごとに異なり、進捗状況の報告や新しいアイデアを議論するためのミーティングが頻繁に開かれています。「学生と向き合う時間を増やしています」。当初は1対1で研究を進めていたそうですが、グループ化したことで研究スピードが上がり、学生たちの責任感や連携力が養われたと言います。

また、学外イベントでは企画立案か

らプレゼンまですべてを学生が行います。「学生自らが主体的に行動することを身に付ければ、社会で活躍できるスキルの向上にもつながります」。指導者と学生という枠を超え、学生をプロジェクト推進メンバーとして位置付けているそうです。

### 学生アイデアを形に

「みためを大事にしよう」を合い言葉に、クオリティが高く、作り手も使い手も楽しめるような研究成果を目標に、学生と議論を重ねて様々なアイデアを形にしています。

中でも大きな注目を集めたのが「ドリームボード」。ホワイトボードに言葉(名詞)を書いて丸で囲むと絵が現れるというシステムを昨年の夏に開発。「絵をアニメ風にしたのも学生の意見が反映されています」。現在は名詞と動詞が絵になるような高度な開発を進めています。「例えば、“熊”と“歩く”という文字を認識して歩いている熊が絵になって現れるような仕組みです。将来的には子どもたちが言葉を学ぶ教材としての実用化を目指しています」。

### ユーザが楽しめるものを開発

「顔キャラクター」と呼ばれる研究は、画面に写した自分の姿が同じ画面

の中のアニメーションのキャラクターの顔になるというもの。

他にも小説を取り込むと絵コンテに変換されるコンテンツ、歌詞と曲線を書いたカードをWEBカメラで認識させると曲線に呼応した曲が流れる作詞作曲システム、スコアブックを認識してゲームを分析する仕組みなど、人の役に立つもの、楽しめるものを開発しています。

### 共同研究で新しいネタを発掘

今は共同研究も増やしているそうで、同じ情報科学部の末永康仁教授や北坂孝幸准教授らと進めている手術用教材もその一つ。医療機関では手術中のビデオを見て執刀技術の向上に努めていますが、執刀医の頭や手などで患部が見えないなどの難点がありました。それを克服したのが手や頭を透明化する画像処理システムの開発。実用化まであと一歩というところにきています。

研究者以外にも小学校との共同研究では、地域学習で利用されている歴史カルタを基に、アプリにしました。

「使えるもの、必要なものをより便利に、シンプルで楽しく美しいものにするような研究を今後も進めていきたいと思っています」。





学生にも好評のインターンシップ



葛谷 奈都美(くずや なつみ)さん  
住居デザイン専攻4年  
様々な職種の人に会えて良かった

住宅設備会社へ行きましたが、営業から販売、施工まで幅広く経験でき、建築業界全体を知ることができて良かったです。

何よりも業界の方々とのお会いが大きかったと感じています。とくに営業の同行では、多くの職種の方と接する機会があったので、現場での良いことも悪いことも聞くことができましたし、どんな人材を求めているかをフランクに尋ねることができたのも収穫です。

また、現場では、学生だけで窓枠の組み立てなどを任されたことで、責任感を持って働く重要性を感じることができました。

建築の楽しさや厳しさを肌で感じられた、有意義な経験だったと思います。



板谷 匡活(いたや まさかつ)さん  
機械工学専攻4年  
経験を活かし就職活動ができた

出身地の浜松の企業へ行きました。バイクのコントロールケーブルからLEDの装飾まで、幅広い事業を手がける会社です。大学での知識が、どの程度活かせるかと思いましたが、金属加工ラインでは現場と大学での実習の違いを肌で感じました。

商品開発のプレゼンでは、大学の経験や実習でプレゼン経験があったので、自信を持ってできました。今までは興味がなかった商品開発のおもしろさを知ることができ、良かったと思います。

会社では自分で考え、自分で動くことの大切さを学びましたが、大学で映画制作に関わり、大道具・小道具担当として台本を読んで自分なりに考えて必要なモノを作ったときと同じだと感じました。

アルバイトとは違い、2週間モチベーションを維持できるか心配でしたが、経験が自分の強みになり、就職活動にもプラスになったと思います。

キャリアセンターが就職活動を支援



伊藤 和晶(いとう かずあき)さん  
機械工学専攻4年  
意見を聞いて学びを活かせる会社へ

3年の秋から製造業1本に絞って就職活動をしてきました。エントリーシートの書き方はキャリアセンターに相談。最初は、大手ばかり8社を受けましたが、2月からは中小企業も視野に入れました。というのも、大手と違い、業務全体を把握できるメリットを聞いたからです。

自動車部品の金型を主に扱う企業に内定が決まり、興味を持っていた金属の切削加工の実習経験なども活かせるのではと思っています。



仲松 ジャニス(なかまつ じゃにす)さん  
土木工学専攻4年  
大学の説明会で魅力を感じた会社へ

就職活動は3年の1月からと、やや遅めのスタートでした。地元で働きたいと思い、中小企業を中心に進めていたのですが、キャリアセンターからのアドバイスもあって、準大手や大手も視野に入れるようにしたんです。そんな折、推薦の話があり、東京本社の会社に内定しました。

大学主催の企業説明会で話を聞き、女性にやさしい会社という点がポイントが高く、職種よりも会社に魅力を感じて決めました。

同窓生が所属している企業を主とした企業展、「瑞若会企業展」にご参加ください

瑞若会(愛知工業大学同窓会)では、在学生への就職支援の一環として、学内企業展を開催しています。2014年(平成26年)度は5月17日(土)に開催し、同窓生が所属している企業を中心に90社と、288名の学生の参加がありました。



【2015年(平成27年)度開催のお知らせ】

2015年度も7月頃に「瑞若会企業展2015」を開催する予定です。参加希望の企業様は、2015年5月末までに、E-mailまたはFAXにてキャリアセンターへご連絡ください。キャリアセンターより詳細のご案内をさせていただきます。

※応募多数の場合は、ご参加いただけない場合もございますので予めご了承ください。

「OB・OGとの交流・懇談会」を初! 開催

同窓会と共催で、2014年11月10日(月)~12日(水)の3日間にわたり、八草キャンパスにOB・OGをお招きして、学生と交流する場を設けました。

来年3月卒業予定の学生を対象に、個々のキャリア意識を高め、就業理解や企業研究の足がかりを目的にしたものです。同時にOB・OGの皆さんと教員の懇談会も行われました。

インターンシップ制度について

キャリアセンターでは、各専攻の担当教員と連携をし、就職指導・支援を行っています。インターンシップ制度を活用した職場体験もすすめておりますので、学生受け入れにご協力いただける企業様は、キャリアセンターまでご連絡ください。

求人のご依頼について

求人に関しては、下記から一括で求人票の登録ができますので、ぜひ、ご利用ください。

WEB求人登録システム

URL <http://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

卒業生向けの求人検索サービスのご案内

卒業生の方々が、「既卒者可」の求人が検索できるサービスを実施しています。下記のアドレスから登録していただき、ご活用ください。

既卒者求人検索 [www.aitusyusyoku.com/](http://www.aitusyusyoku.com/)

【団体名】ギター部  
【部員数】52名  
【代表者】建築学科3年/河口 名月



6本の弦で奏でるハーモニー



私たちは、クラシックギターで独奏や合奏をするなど、様々な演奏スタイルでギターを楽しんでいます。部員の多くは初心者で、技術は部員同士で教え合ったり、講習会などで学んだりしています。

ここ数年で部員数は増加し、活動も徐々に広がりを見せています。その一つが単独での定期演奏会です。人数の増加による問題も少なくありませんが、皆が一つのことを達成するために向かっていくことは、一人ひとりにとって貴重な経験となるでしょう。様々な壁、または学科、学年の垣根を越えてギターを楽しむ姿を、ぜひ一度ご覧ください。



【団体名】ラグビー部  
【部員数】34名  
【代表者】経営学科4年/石川 弘樹



東海No.1ディフェンス

愛工大ラグビー部は東海地区優勝を目指し、日々チーム力の向上と個人のスキルアップを胸に練習に取り組んでいます。今年は創部30周年という記念すべき年で、OB会など大勢の皆様より熱い声援が今まで以上に選手に届き、「試合で絶対勝ちたい」という思いがより一層出てきました。岡本監督の指導の下、すごく充実した練習を行い、全員で力を合わせ、どんな厳しい練習にも全員で声を出し、常に感謝の気持ちを忘れないで励んで参ります。今後ともご声援の程、よろしく願い致します。



【団体名】就職活動支援サークル  
【部員数】36名  
【代表者】経営学科4年/米谷 祐輝



自ら考え行動し、チームワークで達成する

就職活動支援サークルは、就職活動に向けての様々な不安や課題を、学生たち自らの手で解決することを目的として設立されました。

様々な業界の人事の方をお招きして「業界勉強会」や「実践! 模擬面接」といったイベントを開催しています。アポ取り、企業への挨拶(訪問)、当日の接遇等、全て学生がこなしています。これにより社会人として人と接する経験を重ね、主体性の大切さを学び、学生が成長していきます。2014年5月の時点での全



国の内定率は約50%という調査がありますが、サークル内の内定率は約90%と高い成果につながっています。

【団体名】創作サークル  
【部員数】17名  
【代表者】情報科学科4年/横山 愛



創作しすぎて創作☆

愛工大で唯一の女の子中心の創作系サークルです。私たちは「作りたいを形にする」をモットーに活動しています。週に一度、部室で手芸やイラスト、部室外では学内のみらい工房を利用し日曜大工なども行っています。クリエイターズマーケットなど創作イベントにも出展し、多くの方に自分たちの作品を見ていただいています。部活動の一環として、大学祭では毎年ワッフルの模擬店を出展しています。



2014年3月に退職された教員



池田 良夫 教授 大矢 公彦 准教授 落合 鎮康 教授 甲村 和三 教授 酒井 忠雄 教授 鈴木 達夫 教授 高村 秀一 教授 中島 剛 教授 水野 光国 教授 安田 伍朗 准教授  
 ■1980年～ ■1969年～ ■1966年～ ■2007年～ ■1993年～ ■1966年～ ■2007年～ ■2000年～ ■1977年～ ■1969年～  
 ■2014年度から客員教授 ■2014年度から特任教授 ■2014年度から客員教授 ■2014年度から特任教授

退職教員に聞きました！

Q 講義、研究、大学運営などで印象に残ることは？ (敬称略)

■2006年度に経営工学国際会議(名古屋)の議長を務めたこと、経営情報学部への転換改組時の現場監督をしたこと、駅伝大会開催準備の小委員会委員をしたことです。(池田)

■環境工学研究所のスタッフとして、光化学スモッグ対策に当たったこと。伊勢湾上空の気象と海面上の気象をヘリコプターや船で測定したり、自動車排気ガスの影響について熱田神宮の土壌や植物中のPbや重金属を調査したことが思い出に残っています。(大矢)

■助手時代に実験を担当し、実験の指導やレポートの書き方をマンツーマンで指導したことで、学生と密接な関係を築けたこと。卒研生とは毎日夜遅くまで実験を続け、学生と研究成果の喜びを分かち合うことができました。夜遅くなり、夕食を学内で取ることができないため、瀬戸の焼肉屋で食事をしながら実験結果を検討したことや、私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業(2007年度～2009年度)」に採択されたことなど多くの喜びを感受できました。(落合)

■大学院後期課程担当教授として赴任し20年、教育研究に携わってきました。その間43名の前期課程学生、4名の後期課程学生の頑張りや膨大な研究成果が生まれました。卒業研究に従事してくれた学部生と合わせ深く感謝しています。お陰で2006年9月に日本分析化学会学会賞、2007年4月に学長賞を受賞しました。また、2002年に採択された「学術フロンティア推進事業」で、外国から2名の在外共同研究者、5名のポスドクを受け入れ、新規の流れ分析法を提案し、愛工大分析研究室のアドバルーンとすることができました。(酒井)

■経営工学科が設立された折に、企業関係者から経営工学とは何かとよく聞かれたこと。大学の学部、大学院の設立に寄与できたことも印象に残っています。(鈴木)

■学術研究振興資金や教育・研究特別助成の支援により、タングステンへのヘリウム照射により形成される繊維状ナノ構造に関する研究を進展させたこと。高村)

■学生時代から在籍した、応用化学部とのつながりは約半世紀。その間には実験でドラフトのガラスを全部破損してしまったことがあり、1つ間違えば失明の危機でした。それを教訓に「実験計画をする場合は最悪を考えておく準備ができていけば、冷静に対処できること」「予想外の事態が起こっても、突然のことに驚かず、一呼吸おいて行動すること」を心に止めてきました。大学で経験したできごとから「自然は、意外に冷酷で、妥協はゆるさない、突然生命を奪う」ということを学びました。(安田)

Q 学生にまつわる思い出は？

■自宅での卒研生とのコンパを通し、学生の考えを理解し、心の交流を深めることができたこと。講義では、質問してくる学生が多いことに強い感銘を受けました。(落合)

■学生さんと接する機会は多々あったのですが、残念ながら、遠慮深い学生さんが多かったのか、ゼミの学生のような形での接触はありませんでした。ただ、教員採用試験、他大学大学院受験などでの相談を兼ねて訪ねてきた学生とは、それを機に馴染みになったことは印象に残っています。彼らが教員になったり、企業の総務職として活躍しているとの話を聞きますと、関わった教員としてうれしく、誇りに思います。(甲村)

■毎年、小生の誕生日に、院生・4年生が研究室に集いケーキ付き誕生日パーティを開いてくれました。卒業生の皆さんありがとう。(酒井)

■中国人留学生26人を指導したこと。留学生とは今もメールのやり取りをしています。(鈴木)

■大学院博士前期・後期課程の学生と一緒に研究を行い、国内の学会や国際会議で研究発表をしたこと。皆が社会で活躍してくれることを祈っています。(中島)

■通勤に利用した八草駅からのシャトルバスで、学生が運転士さんに「オハヨウゴザイマス」や

「アリガトウゴザイマス」の声をかけていたのを聞くたびに、学園の健全性を感じたものです。最近では減多に見かけない光景とはなりましたが…。(甲村)

Q 大学内で思い出深い場所は？

■11号館の建造場所。ここには小生担当の人間工学実験・実習棟がありましたが、転換改組で取り壊しとなり、新学部の活動が開始された場所だからです。4号館別館の裏から耐震実験センター裏側への小径。ここは、昼食後の散歩道でした。(池田)

■応用化学別館4階のフロア全部を使用していた環境工学研究所が思い出の場所です。ここで、水質分析や大気・土壌分析、光化学スモッグ研究などを行っていました。(大矢)

■素晴らしい自然環境に恵まれた八草キャンパス。ここで、教員生活を過ごせたことは幸運でした。(落合)

■写真撮影を趣味としていますが、秋のキャンパスなどは最高の撮影スポットではないでしょうか。(甲村)

■思い出深い場所は、八草キャンパスの4号館409研究室です。44年間通いました。(鈴木)

■国際交流センター寮の4階テラス。学振の外国人特別研究員として本学に2年滞在した、バン格拉デシュのラジャック博士家族と昼食を共にした場所です。(高村)

■春の桜がきれいな池の周りと秋の紅葉がすばらしい3号館前です。(中島)

■一時は図書室があった、本部棟。大雪で、入試のため一泊したことがありました。就職後、はじめて親元を離れて生活した、学生寮も思い出の場所です。(安田)

Q ほかに思い出深いできごとは？

■ワングル部活動で、高山本線で入山し、御嶽山を踏破し、中央西線を横切り、木曾駒ヶ岳を経て、南アルプスを縦走し、飯田線で帰ったことが思い出です。残念ながら、荷物が重くて、山の景色を楽しむ暇はありませんでしたが…。(安田)

事業報告(平成26年1月1日～平成26年12月31日)	
本部の会議	各種行事
1月	
2月	▲愛知県私立大学同窓会連合会(2/15)
3月	■平成25年度 卒業式「瑞若賞」贈呈(3/23) 卒業生に記念品配布(3/23)
4月	■平成26年度入学式(4/1) 新入生に「START-UP」配布 ◆関東支部総会(4/5)
5月	■第1回総務常任委員会開催(5/22) ■「みずわか」編集委員会開催(4/22) ●「瑞若」選定試飲会(5/16) [名古屋ガーデンパレス]
6月	●瑞若会理事会・支部長会議開催(6/14) [名古屋ガーデンパレス] ●瑞若会(同窓会)企業展(5/17) ■「みずわか」編集委員会開催(5/20) ◆機械学科支部理事会(6/14) [名古屋ガーデンパレス]
7月	■新会員のデータ入力(6/23) ■新会員の同窓会費入金処理(6/23) ■「みずわか」編集委員会開催(7/8) ◆職場支部近藤グループ懇親会(7/18)
8月	▲愛知県私立大学同窓会連合会第2回大学見学会・意見交換会(7/26) [愛知工業大学]
9月	◆応化会同窓会(9/7) [名古屋マリオットアソシアホテル] ■「みずわか」編集委員会開催(9/12) ▲三重AITオープンフォーラム(9/13) [四日市ホテル] ◆三重県支部総会(9/13)
10月	▲岐阜AITオープンフォーラム(9/20) [岐阜グランドホテル] ◆岐阜県支部総会(9/20) ▲静岡AITオープンフォーラム(9/27) [ホテルクラウンパレス浜松] ◆静岡県支部総会(9/27) ◆機械学科支部同窓会(10/4) [愛工大カフェドクリエ] ■愛工大祭 開催への援助(10/9～10/12) ■工科展(10/11) 「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ■駅伝大会(11/5) 「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈
11月	
12月	■第3回総務常任委員会開催

凡例: ●本部事業 ●学内事業 ◆支部事業 ▲その他

人事異動に関するお知らせ

新任教員	人事異動(卒業生関係)	退職教員
工学部電気学科 教授 青木 道宏	工学部機械学科 教授 北川 一敬 H2M	H26年3月31日付
工学部応用化学科 教授 森田 靖	工学部機械学科 准教授 松井 良介 H14M	
工学部機械学科 教授 今野 彰	工学部建築学科 准教授 佐野 泰之 H6A	
工学部建築学科 教授 河路 友也	管理部長 三宅 寛 54E	
経営学部経営学科 教授 加藤 里美	学務部情報科学部事務室 事務長 宇田 秀樹 55E	
情報科学部情報科学科 准教授 内藤 克浩	総務部人事課 係長 前田 賢 H13E	
基礎教育センター 准教授 加藤 久佳	キャリアセンター 係長 田近みえ子 H8K	
工学部電気学科 講師 元谷 卓 H16E	工学部電気学科 教授 落合 鎮康 41E	
工学部応用化学科 講師 村上 博哉	工学部電気学科 教授 高村 秀一	
基礎教育センター 講師 東平 彩亜	工学部応用化学科 教授 酒井 忠雄	
工学部機械学科 助教 武田 亘平 H20M	工学部応用化学科 教授 中島 剛	
愛工大名電高等学校 教諭 富田 弘樹 H18T	工学部機械学科 教授 水野 光国	
	経営学部経営学科 副学長・教授 鈴木 達夫 41K	
	経営学部経営学科 教授 池田 良夫	
	経営学部経営学科 教授 寺本 和幸 41E	
	基礎教育センター 教授 甲村 和三	
	工学部応用化学科 准教授 大矢 公彦 41C	
	工学部応用化学科 准教授 安田 伍朗 41C	

平成25年度 決算書(収支計算書)				
経常経費(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
入会金(基本金)	4,400,000	4,696,000	296,000	
終身会費	22,000,000	23,480,000	1,480,000	
年会費	0	0	0	
受取利息	150,000	86,565	△63,435	
雑収入	0	287,000	287,000	
当期収入合計①	26,550,000	28,549,565	1,999,565	
前期繰越金②	24,019,155	24,019,155	0	
収入の部合計①+②	50,569,155	52,568,720	1,999,565	

基本積立金(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
学科・支部援助費	4,000,000	3,402,854	△597,146	
名簿管理・IT関連費	2,000,000	1,944,909	△55,091	
会報発行費	7,500,000	7,151,126	△348,874	
大学祭援助費	600,000	600,000	0	
卒業記念品費	2,600,000	2,380,350	△219,650	
準会員支援費	2,000,000	2,464,765	464,765	
[小計]	18,700,000	17,944,004	△755,996	
人件費	3,000,000	2,869,195	△130,805	
消耗品費	400,000	144,801	△255,199	
会議費	1,300,000	1,547,488	247,488	
慶弔費	300,000	231,000	△69,000	
私大同窓会連合会	150,000	98,000	△52,000	
雑費・手数料	260,000	197,058	△62,942	
[小計]	5,410,000	5,087,542	△322,458	
予備費	500,000	0	△500,000	
基本積立金へ	4,400,000	4,696,000	296,000	入会金
当期支出合計③	29,010,000	27,727,546	△1,282,454	
当期収支差額④(①-③)	△2,460,000	822,019	3,282,019	
記念事業準備費へ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次期繰越金⑥(②+④-⑤)	18,559,155	21,841,174	3,282,019	
支出の部合計③+⑤+⑥	50,569,155	52,568,720	1,999,565	

記念事業準備費(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費から繰入	4,400,000	4,696,000	296,000	入会金
前期繰越金	201,158,087	201,158,087	0	
収入の部合計	205,558,087	205,854,087	296,000	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	205,558,087	205,854,087	296,000	
支出の部合計	205,558,087	205,854,087	296,000	

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費から繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前期繰越金	0	0	0	
収入の部合計	3,000,000	3,000,000	0	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	3,000,000	3,000,000	0	
支出の部合計	3,000,000	3,000,000	0	

電気工学科		電子工学科		応用化学科		経営工学科		土木工学科		建築工学科		機械工学科	
1966	遠山 鎮雄	1966	寺本 和幸	1966	山本 透								
1967	青木 茂樹	1967	寺本 和幸	1967	山本 透								
1971	青木 茂樹	1971	寺本 和幸	1971	山本 透								
1973	田中 幸男	1973	寺本 和幸	1973	山本 透								
1979	関戸 幸男	1979	寺本 和幸	1979	山本 透								
1981	関戸 幸男	1981	寺本 和幸	1981	山本 透								
1983	合川 満	1983	寺本 和幸	1983	山本 透								
1987	合川 満	1987	寺本 和幸	1987	山本 透								
1988	合川 満	1988	寺本 和幸	1988	山本 透								
1982	草深 光司	1982	寺本 和幸	1982	山本 透								
1968	中島 信夫	1968	寺本 和幸	1968	山本 透								
1968	井川 則彦	1968	寺本 和幸	1968	山本 透								
1970	山本 透	1970	寺本 和幸	1970	山本 透								
1981	最上 勝昌	1981	寺本 和幸	1981	山本 透								
1985	竹内 崇	1985	寺本 和幸	1985	山本 透								
1995	柴田 知明	1995	寺本 和幸	1995	山本 透								
1967	堤 義隆	1967	寺本 和幸	1967	山本 透								
1968	山田 三樹男	1968	寺本 和幸	1968	山本 透								
1970	西尾 治	1970	寺本 和幸	1970	山本 透								
1972	熊谷 栄治	1972	寺本 和幸	1972	山本 透								

寺本 和幸 名誉教授(41E)が、2014年7月6日に逝去されました。ご冥福をお祈りします。1968年工学部経営工学科助手となり、2004年経営情報科学部マーケティング情報科学科教授就任後、退職時は経営学部経営学科教授。

工科展と駅伝大会で「瑞若会特別賞」授与

大学祭工科展(10月11日開催)に出された作品をプレゼンテーションと発表内容等で総合的に評価し、優れた作品に「瑞若会特別賞」が授与されました。

受賞したのは、自動車研究室の「カート・オートバイ・ジムニー・フォーミュラカー・エコラン参戦車の展示」。迫力あるエンジン音に多くの方々が足を止めていました。



自動車研究室のプレゼン

愛工大駅伝大会(11月5日開催)は、下記の3部門と「大畑小学校の部(特別参加)」の4部門で行われました。下記3部門には、上位入賞とは別に「瑞若会特別賞」が贈られました。



受賞した3チーム

- オープン・コースの部(59チーム)：なんでも良い(第54回大学祭実行委員会)
- 学生・教職員交流の部(14チーム)：だって…女の子だもん(情報教育支援課)
- 選手権の部(46チーム)：フェンシング部